

「命を奪うのはもう止めて下さい！」

私達はウクライナでの信じ難い惨事に日々胸を痛めています。産科、小児病院まで攻撃された映像は悪夢のようです。

同時に、真実を知らされず、言いたいことを言えないロシアの人々のことも心配しています。

保育園で暴言や暴力で友達に向かう子がいたら、もちろん人を傷つけることは諫めながらも、何故その子がそうせざるを得ないかを探り、その子自身が認められるよう気持ちに寄り添います。

しかし、今のロシアは客観的な理由もなしに罪のない幼い子など多くの人のかけがえのない命を奪い、核兵器での脅しまで口にするとは、どんな言い訳も許されないと思います。

広島、長崎、そして福島 of 惨事が未だに解決されていないという核の恐ろしさを知る私達は、核による脅し、ましてや日本に核を持ち込ませるなどというとんでもない発言は、絶対に許すことはできません。

絵本の『てぶくろ』はウクライナの民話で、どんな動物も拒まず受け入れる素晴らしい民族性がうかがえます。ロシアにも絵本では皆で力を合わせる『大きなかぶ』を始め沢山の名作があります。そして私達が子どもたちに伝え続けている戯曲『森は生きている』等…芸術文化は本当に素晴らしいものがたくさんあります。その国に生きる人や歴史、文化をお互いに尊重しあえる平和を、子どもたちのためにも私たちは願ってやみません。

今ロシアはウクライナへの侵略を続けることで世界中から孤立しています。ロシア軍による破壊や残虐な戦闘を今すぐ止めて下さい。戦争からは悲劇しか生まれず、憎しみ、悲しみが世代を越えて続いていくことを私達は日本の歴史からも学んでいます。

『裸の王さま』のように民衆の真実の声に目を覚まし、これ以上近しい民族の人達が傷つけあうことがないように心から望みます。

2022年3月

北埼玉保育問題研究会